TOSHIBA

Leading Innovation >>>

東芝投光器取扱説明書

保管用

対 象 機 種				器具質量	適合ランプ(別売)	フード (発売)	ガード(別語)	フィルター (別売)	ポールアダプター(発売)	スパイク 閉売
直	付	式	HT-03501NF (K) /MF (K)	1.8kg		ZL-035F (K)		HT-035 (R) (家)	l	CF-114N
7	– Д	式	HT-03502NF (K) /MF (K)	2. 0 k g	(東芝嫩) MTS35CE-LW/G12 MTS35CE-W/G12			нт-035 (G) (∰)		
据	置	式	HT-03503NF (K) /MF (K)	2. 0 k g				HT-035 (B) (青)	AD362 (2如用)	
直	付	式	HT-15011NF (K) /MF (K)	3.6kg	東芝製 MTS70CE-LW/G12 CDM-T70W/830 MTS70CE-LW/930/G12 CDM-T70W/942			HT150 (R) (赤)	直付式のみ	語画式のみ
7	۵ –	式	HT-15012NF (K) /MF (K)	3. 8 k g	MTS70CE-W/G12	ZL-150F (K)	ZG-150 (K)	HT150 (G) (∰)		
据	置	式	HT-15013NF (K) ∕MF (K)	3.8kg	(東支朝) MTS150CE-LW/G12			HT-150 (B) (青)		

適合ランプについて…器具としては上記ランプが適合しますが、ご使用にあたっては安定器に適合するものをお選びください。

このたびは東芝投光器をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。 お求めの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

◎照明機器の工事に関しては、電気工事の有資格者の 施工管理が義務付けられています。

この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図がちがっている場合があります。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損傷を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただく ために、重要な内容を記載しています。

■工事店様へ

施工上のご注意●エ事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

●器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従ってください。 取り付けに不備があると器具の落下、感電、火災の原因となります。

- ●電源線接続の際は、取扱説明書に従ってください。接続が不完全な 場合は、接続不良による発熱、火災の原因となります。
- ●器具と被照射面との距離は35W形で0.5m以上、150W形で 1.5m以上離してご使用ください。照射距離が指定よりも近すぎ ると、被照射物の変質、変色、火災の原因となります。
- ●施工時において絶縁体にナイフ等のキズが付いた状態で通電されま すと、絶縁破壊が生じ電線が焼損する原因となります。
- ●器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。落下、 感電、火災の原因となります。



●アース工事は電気設備の技術基準に従い確実に行ってください。 アースが不完全な場合は、感電の原因となります。〔D種(第三 種) 接地工事]



- ●この器具は、腐食性ガス雰囲気場所には使用しないでください そのまま使用しますと、変質、変色、絶縁不良、器具の落下の原因 となります。
- ●この器具は、激しい振動・衝撃の加わる可能性のある場所、常時振 動のある場所では使用しないでください。そのまま使用しますと絶 縁不良、器具の落下の原因となります。



- ●この器具は、防湿形ではありませんので、湿気の多い場所には使用 使用環境 しないでください。湿気の浸入による絶縁不良、感電の原因となり
- ●草や木におおわれる恐れのある場所には取付けないでください。 器具の破損・火災の原因となります。

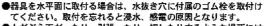
注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の想定される内容を示します。

- ●器具(安定器、ランプ)の定格電圧と電源電圧(定格±6%)は、 器具の取り付けの際に必ず確認してください。 間違って使用しますと、ランプ、安定器などの短寿命火災の原因と
- なります。 ●雰囲気温度が35°Cを超える場所では使用しないでください。
- 点灯不良、火災の原因となります。 ●風速60m/秒を超える場所では使用しないでください落下の原 因となります。
- ●器具に1mを超える雪が積もる恐れのある場所では使用しないで ください。そのまま使用されますと落下の原因となります。 (使用する場合は必ず除雪を行ってください。)



●器具の取り付けには方向性があります。

本体表示並びに取扱説明書に従って行ってください。指定以外の 取り付けを行うと絶縁不良、感電、部品の焼損の原因となります。





- ●人がぶら下がったり、引張ったり、押したりするような場所には 取付けないでください。
- ●十分な強度のある天井、壁、床などにしっかりと固定してくださ い。特にアーム式は大きな力が取付部に加わるので注意してくだ さい。

取り付け

●お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

■お客様へ

使用上のご注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- ●ランプ交換やお手入れの際は、取扱説明書に従って行ってください。 落下、感電、火災の原因となります。
- ●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。電源を入 れたままランプ交換を行うと、ランプ始動のためソケットには、2k V~6kVの高電圧パルスが発生しており、この高電圧パルスの電撃 により墜落事故、感電の原因となります。
- ●ランプ交換の際は、必ず本体表示並びに取扱説明書通りの種類・ワット (W)数の適合ランプをご使用ください。適合ランプ以外をご使用の場 合は、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。
- ●ランプ交換等により下面枠、ランプを外し再度取り付ける場合には、取 扱説明書に従ってください。取り付けに不備がありますと下面枠、ラン プの落下・感電の原因となります。



ランプ交換

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の想定される内容を示します。

●点灯中及び消灯直後はランプ及び器具が高温となっておりますので、 手を触れないでください。やけどの原因となります。



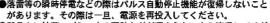
接触禁止

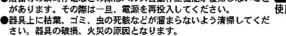
●器具を掃除する際は乾いた布か、水に浸した布をよく絞って拭いてく

●金属部分をクレンザーやたわしで磨かないでください。傷や腐食 の原因となります。

●器具を洗剤・薬品などで拭いたり殺虫剤をかけないでください。器具 の破損、落下、感電等の原因となります。

- ●この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、環境により異なりま すが約10年です。(定期的に工事店等の専門家による点検を実施 してください。)
- ●ランプを掃除する際はランプを器具から外して乾いた布で拭いてく ださい
- ●無負荷状態およびランプ不点の状態での放置はおやめください。電 液障毒などが生じる原因となります。●落雷等の瞬時停電などの際はパルス自動停止機能が復帰しないこと

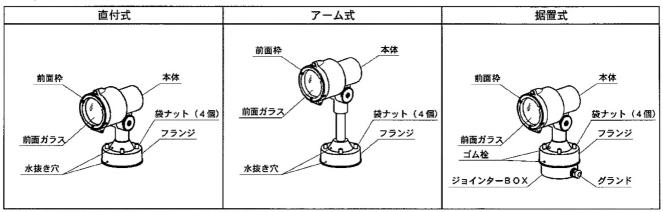


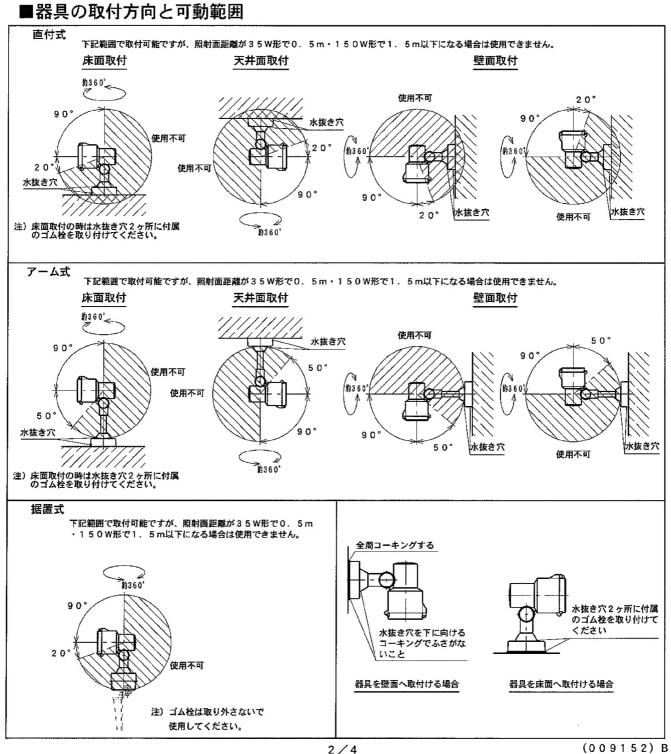


1/4

(009152) B

■各部のなまえ





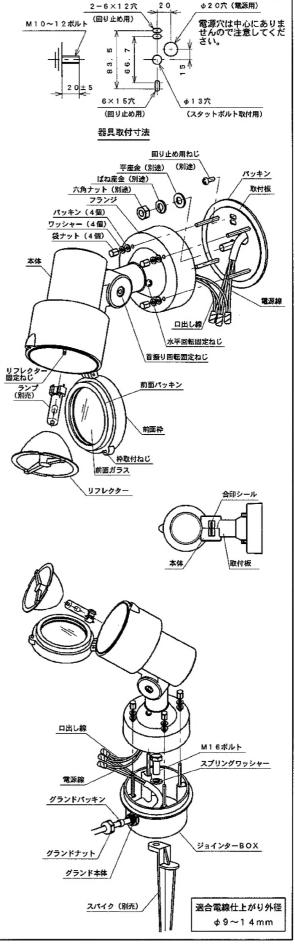
■器具の取り付けかた

(直付式・アーム式の取付)

- 1. 取付面にパッキンと取付板をM10~M12ボルト(別途)にて固定してください。M4~M5ねじ(別途)で回り止めしてください。 取り付けに不備がありますと器具落下の原因となります。また、器具の重量に十分耐えるように取り付け面の確保をしてください。
- 2. 電源線を取付板より約150mm引き出し、器具口出線と結線してください。結線部は自己融着テープを用いて絶縁処理を行ってください。 絶縁処理を怠ると絶縁不良・感電の原因となります。
 - 器具と安定器の間のケーブルは600Vビニール絶縁電線と同等以上の耐熱性を有するケーブルを使用してください。また、配線長は使用する安定器の表記にしたがってください。
- 3. アース線はフランジ内の口出し線(アース線)に接続してください。 電気設備技術基準によりD種(第三種)接地工事を行なってください。
- 4. フランジを取付板にかぶせ、袋ナットで固定してください。袋ナットは 手で緩まない程度に工具で締め付けてください。壁面に取り付ける場合 は、フランジの水抜き穴が下になるように取り付けてください。
- 5. フランジ周囲を全周コーキングし防水処理をしてください。 器具を床面に取り付けの時は、水抜き穴(2ヶ所)に付属のゴム栓を取 り付けてください。
- 6 枠取付ねじを外し前面枠(ガラス付)をあけてください。リフレクター 取付ねじを緩め、リフレクターを回転させはずしてください。 ランプをソケットに取り付けてください。
- ランプは器具・安定器に適合した物を必ずご使用ください。 7. リフレクター及び前面枠を本体にしっかりと締め付けてください。
- ・ リフレクター及び前面枠を本体にしっかりと締め行けてください。 誤った取り付けかたをすると水、水気の浸入により絶縁不良、感電の原因となります。
- 8. 水平回転固定ねじ及び首振り回転固定ねじを緩め本体を回転させ、照射 方向に合わせてください。
 - 首振り回転固定ねじは十分に(3回転位)緩めてから動かしてください。 本体に引っかかりがある状態では回転させないでください。内部の回転 防止ギアが削れ、首垂れの原因となります。
- 9. 照射方向を合わせたら、水平回転固定ねじ及び首振り回転固定ねじを締め付けてください。添付合印シールを本体とアームにまたがるように貼り付けてください。 (メンテナンス時に首振り角度を変更しても元の位置に戻すことが出来ます)本体を前後にゆすりながら、確実に固定されている事を確認してください。

〈据置式の取付〉

- 1. スパイク (別売) を地面に埋設してください。
 - ※水はけの悪い場所や常に水の溜まっている場所には埋設しないでください。スパイクの転倒、水気の浸入により絶縁不良、感電の原因となります。
 - ※鉛直面、傾斜面(がけなど)には埋設しないでください。
- 2. ジョインターBOXを器具よりはずし、スパイクに取り付けてください。
- 3. 電源線をグランドナット・グランドパッキンを介してジョインターBO X内に引き込み、ジョインターBOX上部より150mm程度出し、グランドナットを締め込んで電源線を固定してください。
 - 使用するケーブルは600Vビニール絶縁電線と同等以上の耐熱性を有するケーブルを使用してください。
- 4. 電源線と口出線を結線してください。結線部は自己融着テープを用いて 絶縁処理を行ってください。絶縁処理を怠ると絶縁不良・感電の原因と なります。器具と安定器の間の配線長は使用する安定器の表記にしたが ってください。
- アース線はフランジ内の口出し線(アース線)に接続してください。
 電気設備技術基準によりD種(第三種)接地工事を行なってください。
- フランジをジョインターBOXにかぶせ、袋ナットで固定してください。 袋ナットは手で緩まない程度に工具で締め付けてください。
- 7. 枠取付ねじを外し前面枠(ガラス付)をあけてください。リフレクター 取付ねじを緩め、リフレクターを回転させはずしてください。 ランプをソケットに取り付けてください。
 - ランプは器具・安定器に適合した物を必ずご使用ください。
- 8. リフレクター及び前面枠を本体にしっかりと締め付けてください。 誤った取り付けかたをすると水、水気の浸入により絶縁不良、感電の原 因となります。
- 9. 水平回転固定ねじ及び首振り回転固定ねじを緩め本体を回転させ、照射 方向に合わせてください。
 - 首振り回転固定ねじは十分に(3回転位)緩めてから動かしてください。 本体に引っかかりがある状態では回転させないでください。内部の回転 防止ギアが削れ、首垂れの原因となります。
- 10. 照射方向を合わせたら、水平回転固定ねじ及び首振り回転固定ねじを 締め付けてください。添付合印シールを本体とアームにまたがるよう に貼り付けてください。(メンテナンス時に首振り角度を変更しても 元の位置に戻すことが出来ます)本体を前後にゆすりながら、確実に 固定されている事を確認してください。



(009152) B

■オプション部品の取り付けかた

カラーフィルター 1. 枠取付ねじを緩め前面枠をあけてください。 2. 開閉パッキンにフィルターを取り付けてください 3. 前面枠を締め、枠取付ねじを締め付けてください。 取付位置 前面ガラス 6 前面パッキン 前面パッキン フィルター 前面枠 # (枠取付ねじ 注) カラーフィルターを使用した場合、器具 の付近で色が異なる場合があります。こ

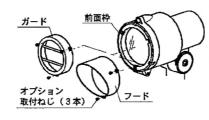
の現象はカラーフィルターの特性による

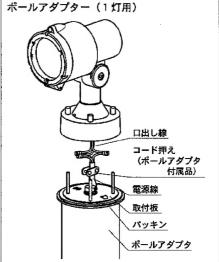
物です。壁面照射等で使用する場合は、 壁面より0.5m以上離し、更にフード

を組み合わせることにより軽減されます。

フード・ガード

- 1. 前面枠のオプション取付ねじ(3本)を 外してください。
- 2. 外したねじでガード又はフードを前面枠 に取り付けてください。





■施工上のご注意

- ●ご使用中にガラス内面が白く曇る場合があります。シリコンゴムパッキンから発生する微量の揮発ガスですので、柔らかい布等で拭いてください。
- ●昼夜の温度差などによりガラス内面に結露を生じる場合がありますが、異常ではありません。点灯すれば解消しますので予めご了承願います。

安全に関するご注意

- ●照明器具には寿命があります。 ●設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。 ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105~1解説による。)
- ●1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検をしてください。 ● 3 年に 1 回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- ●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

■保守・点検のために

(施工記録) ランプ交換など保守のために 下表内窓を確認の と 適切な保守用品をお求めください

105-	- 11-27		~3~	9 C N	OCONC. I WHITE CHRONIC MARK THING SONO (CCV.)	
	器	具	品	番	保守作業上の注記	
	取	付全	₹ 月	日		
	使月	用ラン	ノブ	番		

保証について

- ・保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯器具・ HID器具の安定器(インバータバラスト含む)については3年間です。
- ランプ、点灯管、電池などの消耗品やセード、リモコン送信機は対象外です。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- ・取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に 故障した場合には、無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき

- ・保証期間中は、お買い上げ日を特定できるものを添えてお買い上げの販売店 (工事店)までお申し出ください。
- 保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店 (工事店) にご相談ください。 修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただ
- ・アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い 上げの販売店(工事店)または東芝ライテック照明ご相談センターにお問い 合わせください。
- その際は器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

保証の免責事項

- (4) 車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷 (5) 施工場の不備に起因する故障や不具合
- (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
- (7) 日本国内以外での使用による故障及び損傷
- 2. 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費

部品について

- 修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取ら せていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。 補修用修理部品の保有期間
- 弊社は、この照明器具の補修用性能部品を製造打切後6年保有しています。 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。 (セード・グローブは含まれません。)

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買上げの販売店へご相談ください。 販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048 (通話料:無料) 受付時間:365日 9:00~20:00

携帯電話・PHSなど 046-862-2772 (通話料: 有料) FAX 0570-000-661 (通信料:有料)

お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があり

東芝ライテック株式会社 照明器具事業部

〒237-8510 神奈川県横須賀市船越町1-201-1

TEL (046) 862-2097

FAX (046) 861-8796

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

4/4

(009152) B